

自己評価報告を受けて

「新型コロナウイルス感染症」が5類感染症に移行したのが今年度の5月、日常生活も少しずつ元に戻ってきました。何より、マスクを外した生徒たちや先生方の笑顔に心が癒されます。

令和5年度は、看護専攻科の卒業生が看護師国家試験に全員合格という快挙のニュースでスタートしました。バドミントン部が熊本県総合体育大会において、3部門で優勝を独占し、インターハイ（北海道）に出場しました。ソフトボール・硬式野球部は今年初めて選手権大会に出場しました。

吹奏楽部は全日本吹奏楽コンクール全国大会で10回連続金賞を受賞しました。全日本マーチングフェスティバルでは13回連続金賞受賞となり、関係各所で評価していただいております。とくに、熊本県からは、吹奏楽部と顧問米田真一教諭に「くまもと夢づくり賞」が贈られました。

さて、学校評価アンケートですが、生徒、保護者、教職員とそれぞれの立場で回答したものを、毎回分析して翌年度からの教育活動に活用していくために実施しています。本校の強みであった国際交流については韓国の馬山舞鶴女子高等学校との交流が再開しましたので、ポイントは上昇していくと期待できます。しかしながら、学習活動（授業、基礎学力向上）や生徒理解については、いくつか数値に開きがあります。原因を追究して、数値の差が縮まるよう、上妻校長のリーダーシップのもと、勤しんでほしいと思います。

いよいよ来年度は本校創立100周年となります。よい年になりますよう、職員一丸となって邁進してまいります。

令和6年2月14日

学校法人 玉名白梅学園 理事長 森塚 利徳

学校関係者評価報告を受けて

学校関係者評価委員は、法人評議員と生徒の保護者を代表して PTA 役員のみなさまにお願いしております。今年も大変貴重な評価そしてご意見を頂戴しております。ありがとうございました。

学校評価アンケートを実施する意味、実施したあとの分析・評価、改善策を立てるなどの一連の動きが停滞していることの指摘を受けました。過年度との比較が、日常の教育活動に反映されていないことです。よいところは伸ばし、よくなかった項目については、とくに教職員が目を逸らすことなく、原因を追究して、肯定的評価が100%をめざすようにしてほしいと思います。教師主導で取り組むべき項目で、教師自身がその効果に懐疑的であるならば、生徒や保護者に満足感を期待できるわけがないことを自覚しなければなりません。

熊本の県北玉名という地で100年間教育活動を継続、展開できたことは、地域のみなさまからも愛され、認められてきたということであり、このことを誇りに、さらに地元の方々と連携し、現状に甘んじることなく、未来に向かって発展していきます。

なお、魅力ある学校づくりについても、大変貴重なご意見を頂きました。

迅速に対応できるものはぜひ取り入れ、開かれた学園をめざして努力を続ける所存です。

今後ともよろしく願い申し上げます。

令和6年3月31日

学校法人 玉名白梅学園 理事長 森塚 利徳